

福井県坂井市、福井テレビ、バイウィルが カーボンニュートラルの実現を目指し、連携協定を締結

J-クレジットの創出・流通に取り組むことで、
環境価値と経済価値の循環を起こし、坂井市の地域脱炭素と地域経済の活性化に貢献

日本全国 47 都道府県のカーボンニュートラル実現を目指す株式会社バイウィル(本社:東京都中央区、代表取締役社長:下村 雄一郎、以下「バイウィル」と)、福井テレビジョン放送株式会社(本社:福井県福井市、代表取締役社長:酒井 美樹男、以下「福井テレビ」)は、福井県坂井市(市長:池田 禎孝、以下「坂井市」と)、カーボンニュートラルおよびサーキュラーエコノミーの実現に向けた連携協定を締結しました。

本協定をもとに、J-クレジット(*1)をはじめとする環境価値の創出・流通や、新たなビジネスモデルの創出に取り組めます。



(写真左から)バイウィル 代表取締役社長 下村雄一郎、坂井市長 池田禎孝氏、福井テレビ 代表取締役社長 酒井美樹男氏

*1:J-クレジットとは、省エネ設備の導入や再生エネルギーの活用等、事業者による脱炭素活動により得られた CO2 等の温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証したもの。発行されたクレジットは他の企業等に売却することができ、購入者はカーボン・オフセットなどに活用することができる。

【締結日】

2025 年 3 月 11 日（火）

締結日当日、坂井市役所にて協定締結式を執り行いました。

【協定内容】

本協定を基に、ゼロカーボンシティおよびサーキュラーエコノミーの実現を目的として、以下の事項について協力します。

- (1)環境価値に関する情報・サービス・ノウハウ等の提供
- (2)環境価値を活用した新たなビジネスモデルの創出
- (3)その他、本協定の目的に資すると双方が認める事項

【締結の背景】

坂井市は、2021 年 3 月 5 日にゼロカーボンシティ宣言を行い、2050 年までの温室効果ガス総排出量実質ゼロを目指しています。

実現に向けて坂井市では、“海・川・里・山 すべての資源が活用され、地域に循環する脱炭素戦略”として「坂井市脱炭素ロードマップ」を 2024 年 3 月に策定しました。脱炭素への動機喚起の環境教育やワークショップの実施、木質ボイラーや薪・ペレットストーブの導入促進、住宅への省エネ家電・LED 照明等の導入促進など、ゼロカーボンシティ実現に向けた具体的な取り組みを進めています。

今回、それらの取り組みを J-クレジット創出・活用へと繋げ、脱炭素活動のさらなる拡大に活かすべく、本連携協定に至りました。

一方、福井テレビとバイウィルは 2023 年 9 月に顧客紹介契約を締結し、地域の脱炭素とともに目指してきました。今回も福井テレビから坂井市へバイウィルが紹介されたことで、本連携協定が実現しました。

*参考)坂井市ホームページ:坂井市脱炭素ロードマップを策定しました
(<https://www.city.fukui-sakai.lg.jp/kankyou/kurashi/kankyo/sesaku/datsutansoroadmap.html>)

【今後の展望】

坂井市のゼロカーボンシティ実現を目指し、バイウィル・福井テレビは共に連携して、J-クレジットの創出および流通を進めてまいります。J-クレジットの創出方法(方法論)については、LED の導入から検討しています。

バイウィルは、坂井市における J-クレジット創出プロジェクトの登録・申請からモニタリング、創出したクレジットの販売までをシームレスに支援します。また、販売に関しては、福井テレビと

協力し、「地産地消」によって坂井市をはじめとする地域の脱炭素化を促進します。

【3 者概要】

<坂井市 概要>

- 代表者： 市長 池田 禎孝
- 所在地： 福井県坂井市坂井町下新庄第 1 号 1 番地

<福井テレビ 概要>

- 名称： 福井テレビジョン放送株式会社
- 代表者： 代表取締役社長 酒井 美樹男
- 所在地： 福井県福井市問屋町 3 丁目 410
- 事業内容： 放送事業

<バイウィル 概要>

- 名称： 株式会社バイウィル
- 代表者： 代表取締役社長 下村 雄一郎
- 所在地： 東京都中央区日本橋 2-3-21 群馬ビル 6 階
- 事業内容：
 - ・環境価値創出支援事業(クレジット創出)
 - ・環境価値売買事業(クレジット調達・仲介)
 - ・脱炭素コンサルティング事業
 - ・ブランドコンサルティング事業

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社バイウィル 広報担当
e-mail:info@bywill.co.jp
TEL:03-6262-3584(代表)